

未来の図書館を考える

附属図書館長 凍田和美

近年、コンピュータは私たちの生活の中に入り込んできました。政府は2010年には、「いつでも、どこでも、何にでも、誰でも」ネットワークに簡単につながるユビキタス社会の実現に向けてu-japan政策を打ち出しました。

初めて私がコンピュータを使ったのは、もう40年も前になりますが、大学2年の後期に受けた「電子計算機入門」でした。当時は、大学の他のどの建物にもエアコンは入ってはいませんでした。コンピュータ棟だけは、夏でも寒いくらいにガンガンクーラーが効いていたものでした。学生はもちろん教員でも、コンピュータを直接触ることはできずに、プログラムの文字に対応して穴あけをしたカードを300枚位束ねたものを受付に預け、オペレータが1束、1束、コンピュータに通していくシステムでした。その後、沢山の端末を介してコンピュータを利用者が直接使う方法に変わり、どの大学もコンピュータセンターは多くの利用者で大賑わいでした。1985年位から個人がもつコンピュータ（パソコン）が広がってきて、近年に向けて、多くのパソコンがネットワークでつながり、データの処理と伝送の役割をするネットワークシステムが普及してきたのでした。

それぞれの部屋でネットワークにつながったパソコンを前に利用者は仕事をするので、今では、コンピュータセンターは巨大なハードディスクを持つデータセンターに変わり、30年を経て、「オペレータだけがいるコンピュータ室」に戻りました。ネットワークが浸透し、人が集まって作業をする必要がなくなったのですね。

40年前に比べると、図書館も変わりました。本の購入から、検索、貸し出しまで、全てコンピュータで管理しています。ちょっと進んだ図書館では、それだけではなく、本という紙の上に印刷された文字情報が紙から分離され、電子的な図書として、大きなハードディスクに貯められます。もちろん、こうすることで、キーワードによる検索ではなく、本の内容による検索ができ、必要な本を間違いなく、すばやく探し出すことができます。また、他の図書館との連携で課題となっている、重たい本の移動はなく、高速なネットワークを介して、いつでも、どこでも、誰でも、必要な電子の本に出会えるのです。また、紙の本は保存に場所が必要ですし、使うとどうしても磨耗してしまうのですが、電子図書はそうした問題も解決してくれます。

昔から大学の中心にあった図書館が、多くの大学では近年、最新の情報センターと手を組み、新たな図書館の未来像を見つけようとしています。その未来は、どんなに便利なものになるのだろうかという期待とともに、人が沢山集まる図書館であって欲しいと思うのは年をとったせいでしょうか。

ネットワークの情報だけに頼らず、是非、図書館に足を運び、紙の匂いのする本に出会いましょう。

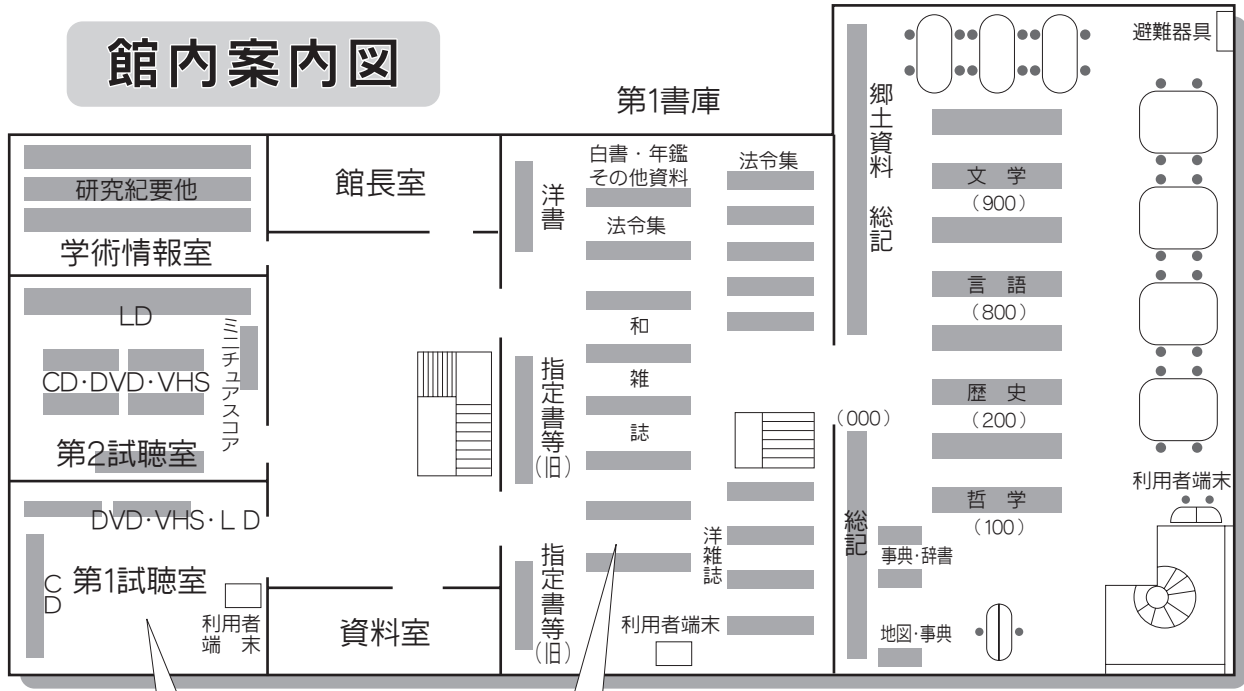
(こおりだ かずよし/情報処理論)



目次

図書館長からのメッセージ	1
館内案内図	2
図書館ホームページでの蔵書検索紹介	3
読書のすすめ	4
おすすめの1冊	6
試聴室へ行こう！ ～試聴室おすすめのディスク～	7
学生選書ツアーを実施しました	8
“図書館利用に関するアンケート” から	10
リクエストによる購入資料	12

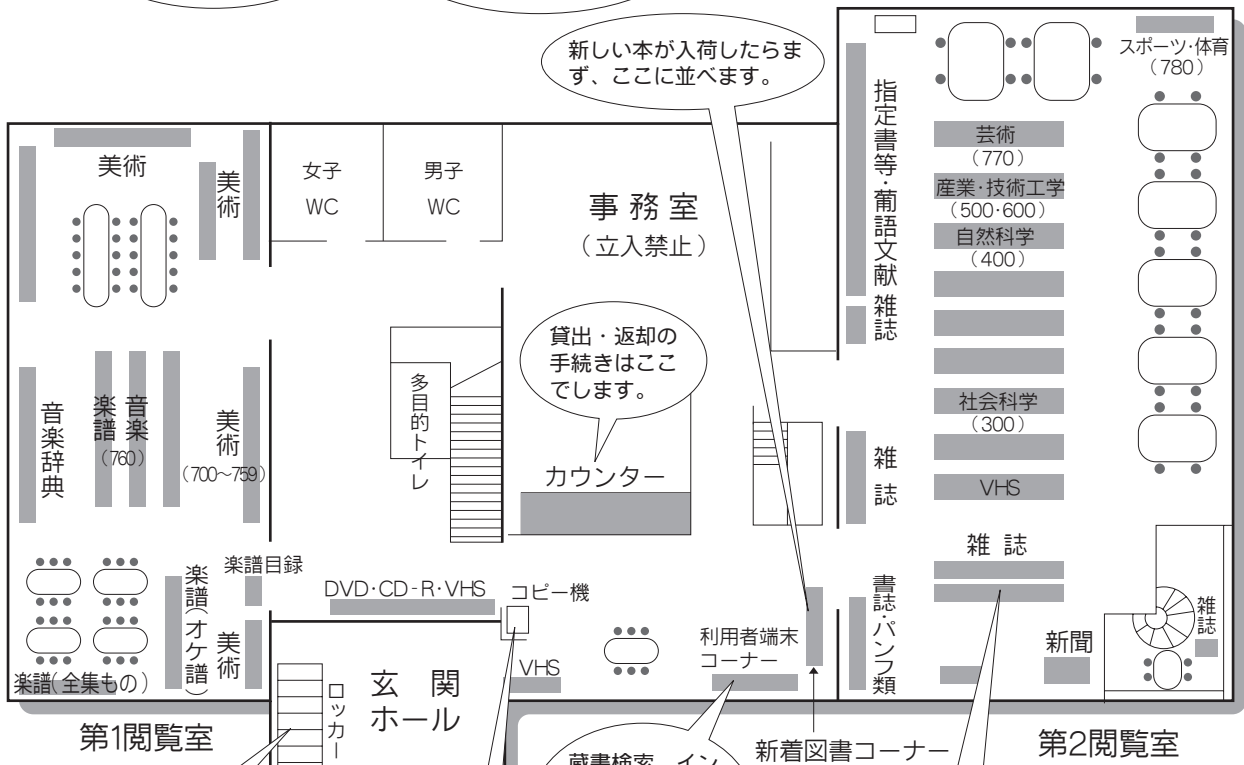
館内案内図



CD・ビデオなどが試聴できます

雑誌のバックナンバーがあります。(50音順に並んでいます。)

新しい本が入荷したらまず、ここに並べます。



バッグ類はここに預けて入館してください

白黒コピーと、カラーコピーができます。
 ◆白黒オールサイズ ……10円
 ◆カラーA4・B5・B4…50円
 A3…80円

蔵書検索、インターネットなどに利用できます。2階にもあります。

雑誌の最新号と今年度分を置いています。バックナンバーは2階第1書庫にあります。新聞は過去3年間保存していません。過去の新聞が必要な場合は係員まで申し出てください。

図書館ホームページでの蔵書検索紹介

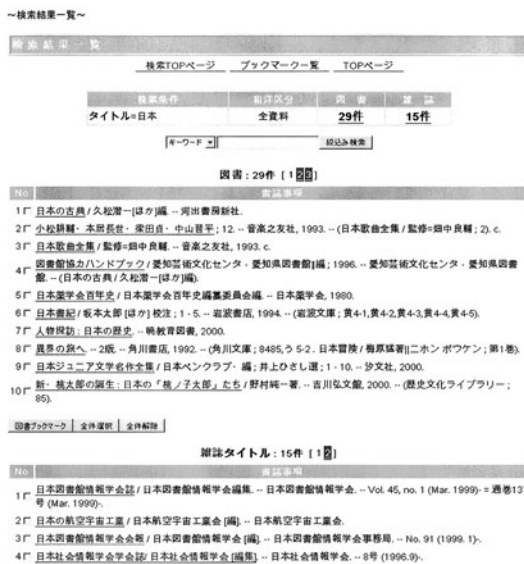
本学の蔵書は、学内、学外を問わず図書館のホームページから検索することができます。
 図書館のホームページ (http://www.oita-pjc.ac.jp/library/) にアクセスしてみましょう。

① 図書館のホームページ



- 図書館のホームページを出してください。
- 蔵書検索をクリックしてください。

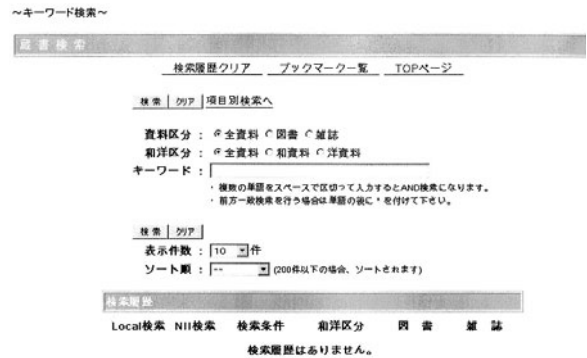
③ 検索結果一覧



- 検索結果図書29件雑誌15件が表示されます。
- 該当資料のアンダーラインをクリックすると詳細書誌情報が見られます。
- ここでは「日本書紀」をクリックします。

※目録検索画面以降の書誌データはサンプルのため、実際のデータとは違います。

② 蔵書検索画面



- 資料区分と和洋区分の項目をチェックしてください。(デフォルトは全資料です)
- 目録検索には「キーワード検索」と「項目別検索」があります。
- ここではキーワード検索で探してみましょう。
- 「日本」と入力してみます。
- 検索のボタンをクリックします。

④ 図書書誌情報



- 所蔵情報(請求記号、配架場所、貸出状況)と詳しい書誌情報が表示されます。

読書のすすめ — 情報処理の基礎の基礎

国際文化学科 上野 正二

韓国のテレビドラマ「チャングムの誓い」を見ていたら、薬と毒の違いはどこにあるか、という問いに対して、主人公が「薬と毒の違いを述べることはできません。どんな良薬と言われるものでも使い方を誤ると毒になりますし、同じものでも使い方次第で薬になるのです」と言う場面がありました。言葉も相手によって、相手の状況によって、毒ともなり薬ともなるのです。既に十分に発達過程を通りすぎた中学生に、「今日からは自分に自信を持ち、責任を持って生きなさい」と言うのは、過剰な要求となり自殺へと追い込むことにさえなる（この場合、自分など何の頼りになるものではない、自分で主体的に生きていたいと思って全部動かされているんだ、と言うべきだったのです）のに対して、未発達の高校生にはそういうことを言って遣らないと〈自我〉も目覚めないで終わってしまうのです。言葉の働きの問題ですから、同じようなことが読書においても言えるでしょう。どれほど高貴な経典であっても、それを読む人、読む機会、読み方によって害になるのですし、如何に有害な本と呼ばれるものでも、同様に、それを読む人、読む機会、読み方によって、有益なものとなるのです。したがって書物は、相手の状況を判断した上でなければウカツには人に勧めることはできないことになります。

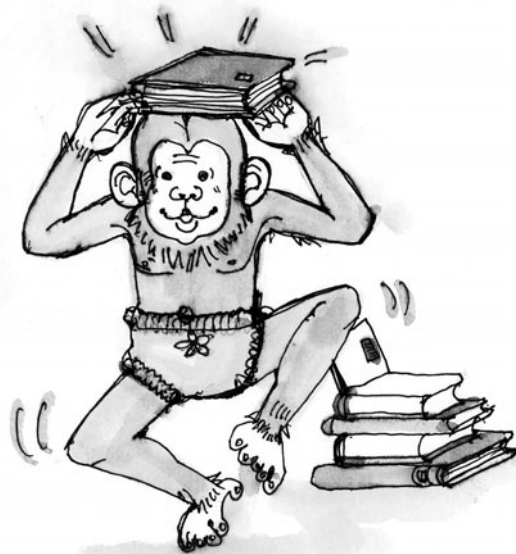
それで、ここでは書物を善いものとする「読み方」について考えてみることにしましょう。本の読み方については、果たして「善い読み方」「悪い読み方」が語られるかどうか、考えて見て下さい。私は、「必ず良い結果をもたらす読み方」というものがあると考えて、以下を記します。

薬の例でも生き方の勧めの例でも、いずれにしても、旨く行くか悪くなるかは、当人の目的に叶うかどうかによって決まっているようです。身体の実現するならば薬、それを妨げれば毒であり、人生の目的に向けられていれば善い言葉、人生を中断させるようでは悪い、間違った言葉です。では読書ではどうでしょう。ほとんどの知識情報を伝える書物は、当人の当面の目的に合致していれば有益であると言えるでしょう。これに対して無条件に善い人生をめざしている人に道草を食わせるような書物、究極的な生き方の準備段階にある人にいきなりプロセスを無視した窮極の歩き方を指南するような書物は、人によっては「ご用心！」です（後の場合、長い目で見れば、あるいはその本の位置づけを明確に示しておけば、善い本になるのではないのでしょうか。とすると、冒頭の私の表現は一部修正を要することになります）。ただ、そうすると、ほとんどのハウツー本は、人びとから「人生の本来の目的」というものを見えなくさせ、結果的に道草人生を勧めることになる恐れがあります。



さて、「善い読み方」の問題です。国際文化学科の「教養ゼミナール」で勧めている物事を批判的に見る「クリティカル・シンキング」の力さえ付ければ、何でも咀嚼出来ない本はなくなります。今少し立ち入って考えてみると、まず、①その書物が人生や幸福の問題を扱っているものかどうか、を区別します。②そしてそれが金儲けの仕方、健康の保持増進の仕方、友だちを多く作る方法など、要するにハウツー本の場合には、人によって富や健康や友人の多さなどほとんどの事柄は害になる恐れがあるので、この著者は何でこのことに夢中になってんだらう？ と疑問を抱き、幸福問題との関連をはっきりさせることにします。③その本が人生や幸福を論じる物である場合には、著者が「人生や幸福の問題は人それぞれの解決があって良い、〈コレ〉じゃないといけないというようなものではない」というような主張の持ち主ならば、読むのは止めることにしましょう（参考意見ぐらいにはなると思われるかも知れないが、その程度なら今読まなくてもよい）。これまでの作業をするだけで、テレビニュースや新聞雑誌の記事、学会発表や講義など耳にするもの悉くが、楽しい批判のタネとなります。④それでは、「これが最高の教えだ！」という本である場合には？ 一読して「分からないから捨てる」というのは、旨くないでしょう。本当に大事な事柄というのは、人間の理性では処理することが出来ないのです。また、あなたがこういう問題に馴染みを持たないのが理由であるかもしれません。そういう場合には親しみが湧いてくるまで、あるいは自分自身が成長するまで気長に待ちましょう。そのうちに同じような主張でも微妙に違っているのが判ってくるのです。「そのうち」は、十年か三十年か五十年か、人によって異なりますが、幾ら時間がかかっても、これが一番肝心な事柄なのだからやむを得ません。

(うえの しょうじ/哲学)



おすすめの一冊

※取り上げられた本は、附属図書館に所蔵もしくは所蔵予定です。

松本清張『或る「小倉日記」伝』(新潮文庫 他)

情報コミュニケーション学科 関口 洋美

松本清張といえば、「点と線」をはじめとしたミステリー作家という印象が強い。無論、私もそうだと思ってきた。しかし、仕事で北九州市へ行き、たまたま乗ったタクシーの運転手に、「小倉に来たなら、ぜひ、松本清張記念館へ行ってみてください」といわれ、進められるままにたずねてみた。そこで、この作家への考え方ががらりと変わり、読んでみようと思ったのが、この作品である。

松本清張が芥川賞を受賞していることは、以前から知っていた。しかし、なぜベストセラーに贈られることの多い「直木賞」でなく、「芥川賞」なのかと疑問を感じていた。その疑問を解いたのが、この資料館であった。清張は、ミステリー作家という仕事以外にも、現代小説や歴史小説、さまざまな事件の調べ直しなどをしてきた。特に、第二次大戦後に日本国内で起きた事件について調べたことを基にした作品は、新聞記者出身の清張らしい作品とこのことであった。このような事実を知り、その原点である芥川賞受賞作品『或る「小倉日記」伝』を読んでみたくなった。

話の大筋は、障害を持つ青年が森鷗外の「小倉日記」を復元するために、その生涯をかけて取材していく姿を追っていくものである。この青年の人物像や、母親の人物像、時代背景などの表現が、フィクションなのかノンフィクションなのか、わからなくさせるほどであった。また、最も強く感じたことは、その文体の読みやすさである。仕事柄、9割が事実(実験や調査の方法や結果)、1割が意見(考察)のような文章を読むことが多い私は、小説はなまやさしい感じがして好きではなかった。しかし、この小説を読んで、小説への印象が変わったように思う。文章を読むということ、記述するということが、調べるとのことなど、さまざまな視点から、勉強になる一冊だと思われる。ケータイ小説やブログのような、日々更新される作品にも感動があるとは思いますが、とてもよく練られた作品を読むのも良いのではないだろうか。

(せきぐち ひろみ/教育心理学)

モーツァルト作曲：『ホルン協奏曲』D.ブレイン、Z.ティルシャル

音楽科 清水 万敬

ウォルフガング・アマデウス・モーツァルトの名前は、ご存知の方も多いと思います。数年前に生誕250年と世界中で話題になり、彼の曲をメインとした音楽祭などが各地で開かれましたことを記憶されている方も多いことでしょう。そのモーツァルトが、残しました4曲のホルン協奏曲が収められましたCDをご紹介します。これらは、彼の親友でありアマチュアホルン吹き、そして、本業はチーズ職人イグナーツ・ロイトゲープのために書かれました。彼らの親交ぶりは、残されております楽譜から容易に想像ができます。モーツァルトが、様々な色のインクを使って書いたり、楽譜の上のスペースに宛てた落書きを書いたりしています。それらの協奏曲が収められているCDは、現在までたくさんの演奏家が収録しております。

その中でもデニス・ブレインとズデニェック・ティルシャルの2枚をお勧め致します。前者は、1957年に交通事故で36歳の若さで亡くなりました(奇しくもモーツァルトと同じ)。父オーブリーもホルン奏者であり、イギリスホルン界を代表する奏者として才能を存分に開かせておりました。H.v.カラヤンからの絶大な信頼とサポートを得て、フィルハーモニア管弦楽団と共演しております。自然な流れが美しく、しかしながら細部に至るまでたいへんよく練られた演奏です。ホルン奏者からは、『聖書』のように崇められております。後者は、一昨年夏、森の中を散歩中に急死しました。チェコを代表するホルン奏者として世界に名を知らしめておりました。しかし、とても気さくな方で、いつも大きな温かい手で強く握手されていたのが印象的でした。彼の演奏は、独特なヴィブラートを伴った美しい音色、上品であり且つ優しく愛情細やかです。音楽に、人格が表れております。(2度目の収録がおすすめです)

楽曲自体は、ナチュラルホルンのために書かれておりますが、いずれの演奏も現代のホルンで演奏されております。天才の書いた曲を、天才な芸術家が演奏しております。あまりにも麗麗な演奏で両者ともに甲乙がつけられず、上記のように2枚を推薦させていただきました。

(しみず かずのり/ホルン)

試聴室へ行こう!

～試聴室おすすめのディスク～

至上のルチア：佐藤 美枝子

佐藤 美枝子（ソプラノ）

マウリツィオ・バルバチャーニ指揮：ローマ室内管弦楽団

音楽科 愛甲久美

今回皆さんにご紹介するのは、本学音楽科の客員教授、佐藤美枝子さんの演奏によるCD「至上のルチア」です。

佐藤さんは緑丘高校のご出身で、世界的に有名なチャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門において、日本人で初めて優勝をするという快挙を成しとげました。このCDでは、佐藤さんがこのコンクールを制したときに歌った曲の数々が集録されていますが、コロラトゥーラソプラノと呼ばれる佐藤さんの声域における最大の難曲ばかりを、軽やかに、そして表情豊かに歌いあげる演奏の完成度の高さと表現の幅の広さには驚かされます。

タイトルにある「ルチア」というのは、数あるイタリアオペラの主役の中でも、ドラマティックでありながら非常に超絶な技巧が要求されている難役のひとつですが、佐藤さんは確実なテクニックで楽々と（聞こえるように）歌いこなしています。

又、このCDの解説では、当時このコンクールの審査員をしていた小野光子さんから、コンクール事務局の手違いで課題曲を変更せざるを得なかった佐藤さんが、たった3日で新しい曲を譜読みして審査に臨んだエピソードも語られています。目標に向かっての強い意志と集中力、そしてたゆまぬ努力の大切

さを、佐藤さんの歌声から強く感じます。

昨年は客員教授として、コンパルホールで本学専攻科生を直接指導して下さい、その情熱的でエネルギッシュな姿が印象的だった佐藤さんですが、今年も12月4日に音の泉ホールで公開レッスンの形で専攻科学生を指導して下さいます。

どうぞこのCDと生の佐藤さんの歌声から、皆さんも世界レヴェルのパワーをもらって下さい。

(あいこう くみ/声楽)

『至上のルチア=La Lucia』（ビクターエンターテインメント）第1 試聴室 C/1675



学生選書ツアーを実施しました

附属図書館では昨年度、図書館の学生用図書を学生が書店で自分の目で選ぶ「学生選書ツアー」を初めて実施しました。

附属図書館で購入する本を選ぶ「選書」は通常、各学科の図書委員を中心とした教員や図書館職員が行っていますが、学生が図書館や本に親しむ機会を作り、附属図書館の利用促進を図るとともに、学生がどういう本を求めているかを把握するため、学生による選書の機会を設けることになりました。

昨年12月に学生選書委員を公募し、学科からの推薦も合わせて6名の学生が選書委員になりました。1月9日（水）に大分市内の紀伊国屋書店大分店で選書ツアーを開催。約2時間、1人3万円の予算内で、学科として必要な本、大学として必要な本、個人的に興味のある分野という視点から自由に選書してもらいました。その後、1月16日



（水）に選書委員会を開き、選んだ理由やおすすめのポイントを一人ひとりが発表するとともに、今後の附属図書館に望むことなど、様々な意見が出されました。

選ばれた99タイトルは、すべて所蔵され、附属図書館1階の新着図書コーナーに配架されました。下記は、今回、選定された図書の一部と学生による選定理由です。

附属図書館では、今年も学生による選書の取り組みを行う予定です。学生選書委員への多数の応募をお待ちしています。

書名	選定理由
ほっとする論語	講義で学んでいる論語が読みやすく書いてある。
動物写真集 大地の鼓動	作品制作の参考になる。
グラフィックデザイナーのためのレイアウトデザインの法則	作品制作のために必要。
真 鶴	好きな作家の他の作品が読みたかったため。
名前探しの放課後	帯の内容がおもしろそうだったから。
国のない男	新聞書評で興味を持ったから。

学生選書ツアーに参加して

2007年1月9日、私を含む6名の学生が選書委員として紀伊国屋書店へと向かった。選書ツアーの始まりである。予算は3万円。目一杯活用しようと思った。

到着したのち各自名札を付け、説明を受けた後さっそく選書を開始。もちろん電卓も忘れない。以下では、このツアーのなかで私が選書した数冊を紹介しようと思う。

『The Blue Day Book ブルーデイブック』

ブラッドリー・トレバー・グリーヴ 著
ペロっと舌を出した熊、(どう考えても持ち上がりそうにない)ダンベルにしがみつく子猫、ものすごく思い悩むチンパンジーなどなど…。表情豊かな動物たちの写真とともに、ユーモアたっぷりの一言メッセージが添えられている写真集である。何より読み易く、不思議と、読んでいただけで楽観的思考になれたり、「人生って意外と楽しめるかもよ？」と励まされているように感じてしまう本である。

(これに加え『Dear Mom デイアママ』ほか、シリーズ本として9冊ある)

『WATER』、『墨』、『Inoue Takehiko illustrations』

井上 雄彦 著

著者は漫画「SLAM DUNK」、「バガボンド」等の作者、井上雄彦である。CMでもお馴染みの資生堂製品宣伝用に使われた作品を含めた「バカボンド」カラー原画集『WATER』。同じく「バガボンド」の、こちらは墨やペンで描いたモノクロ原画集『墨』。『Inoue Takehiko illustrations』には「SLAM DUNK」のカラー原画を含め、描き下ろしで素描も掲載されている。これらの作品集は、画集という

形ではあるが、漫画を媒体としている為比較的目に入ってきてやすいと思う。しかも全てアナログ。これを見ると無性に絵が描きたくなる、それくらい私にとって衝撃的だった。

今回の選書ツアーはプチインターンシップのようで、なにより楽しく、図書館という機関(とって良いのか分からないが)に関わることの出来た貴重な経験になったと思う。

それからツアーのなかで気づいたことだが、学科もばらばらの学生6名、やっぱりそれぞれ好みが違う…个性的というか何というか…。そのせいか選ぶ本が重なるということはほとんどなかった。それどころか、小説から理論書、写真集、DVDに至るまで幅広く、分野を問わず選書。かなりマニアックなものもあると思うが、学生の目線で選んだ資料である。是非手にとって読んでもらいたい。

(美術科2年 橋本 千里 [当時])



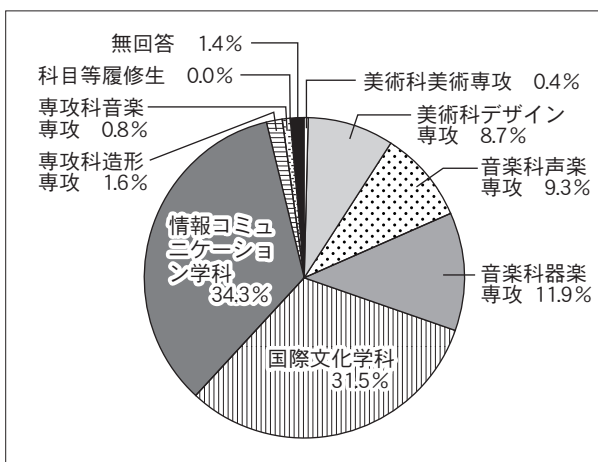
“図書館利用に関するアンケート”から

利用しやすい、親しみやすい図書館づくりをめざして、サービス向上を図るための基礎資料を得ることを目的に昨年12月、全学生を対象とした「図書館利用に関するアンケート」を実施しました。このたび、調査の結果がまとまりましたので、おしらせします。

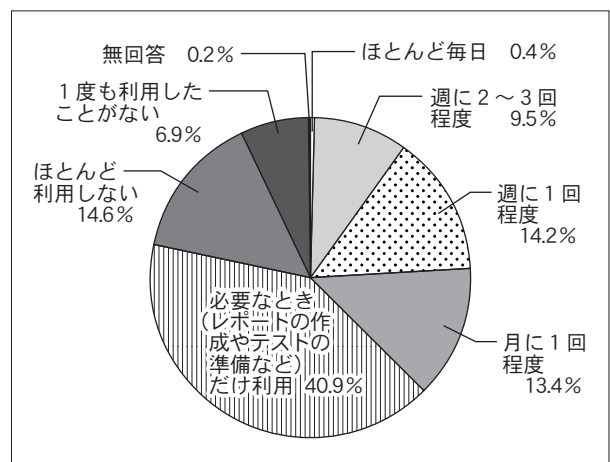
アンケートにご協力くださった学生の皆さん、本当にありがとうございました。

集計結果（回答総数：495名）

所属学科



利用頻度



1 回答者の概要

回答者総数は495名で、平成19年5月の在学者数（専攻科含む）806名に対して61.4%の回答を得ました。各学科の回答率は美術28.0%、音楽70.0%、国際文化71.6%、情報コミュニケーション73.9%、両専攻科25.5%で、美術の回答率が低くなっています。回答総数の内訳は美術9.1%、音楽21.2%、国際文化31.5%、情報コミュニケーション34.3%、両専攻科2.4%、無回答1.4%となっています。学年構成は1年生46.3%、2年生50.5%で、2年生がやや多くなっています。

2 利用状況

利用頻度については、週に1回以上利用する人は、平成17年度調査の39.1%から24.1%に減少、月に1回以上利用する人も、平成17年度調査の64.8%から37.5%に減少しました。必要なとき利用する人が40.9%と多数派となり、定期的に利用する人が減っている傾向にあります。

利用目的（複数回答）は、本を読む・借りる・返却するため53.5%、調べものをするため36.8%、レポート作成のため34.1%、CD・DVD等視聴のため21.2%、ひまつぶし20.4%、持ち込み資料等による学習・研究のため18.2%、趣味や教養のため14.1%、インターネット利用のため12.1%、新聞・雑誌を読むため11.1%などとなっています。

ほとんど・全く利用しない人の利用しない理由（複数回答）は、必要がない34.3%、利用する時間がない25.5%、自分で購入する20.6%、入りにくい19.6%、公共図書館などを利用する11.8%、図書・雑誌が揃っていない11.8%などとなっています。もう少し日常的に利用しやすい環境をつくっていききたいと思います。

3 改善すべき点

開館日（複数回答）は、現状でよい67.5%、土・日曜も開館してほしい17.6%、土曜日も開館してほしい11.9%となり、土・日の開館に対して一定の要望が認められます。

開館時間（複数回答）については、17時に閉館していた平成17年度の調査では開館時間延長が42.3%でしたが、平成18年4月から19時閉館へ時間延長をした結果、今回は12.7%、その他1.4%を加えても14.1%に低下し、現状でよいは81.0%となっています。

貸出冊数（複数回答）は、現状でよい85.1%、図書変更2.4%、CD変更9.5%、その他1.0%となっています。

貸出期間（複数回答）については、現状でよい78.4%、図書変更3.2%、CD変更11.9%、楽譜変更6.3%、その他0.4%となっています。

4 図書館サービス

本などを探す方法（複数回答）は、直接見に行く56.8%、図書館ホームページから蔵書検索を使う38.0%、職員に聞く17.2%、その他3.2%です。

図書館サービスの認知度（複数回答）については、試聴室の利用62.8%、館内利用者端末コーナー51.7%、リクエスト43.8%、図書の予約37.2%ですが、実際に利用経験したことがある人は、館内利用者端末コーナー24.2%、試聴室20.6%、図書の予約4.4%、リクエスト2.6%と少なくなっています。資料を探す援助をするレファレンスサービス、他大学との本などの貸借・コピー取り寄せはほとんど利用されていませんが、学習・研究を支援する大学図書館として基本的な機能であり、充実を図る必要があります。

5 図書館満足度

必要な資料は何か（複数回答）について、専門図書60.6%と圧倒的に多く、教養や趣味の図書29.5%、専門雑誌21.8%、教養や趣味の雑誌18.0%と続きます。

必要とする資料の充実度は、充分揃っている8.5%、だいたい揃っている48.5%、あまり揃っていない32.5%、全く揃っていない2.6%です。平成17年度調査では、充分揃っている12.0%、だいたい揃っている60.4%、あまり揃っていない16.6%、全く揃っていない1.2%であり、必要な資料が揃っていないと感じる人が増えています。リクエスト制度、学生選書ツアーを通じてできるだけ要望に応じていきたいと思えます。

施設や設備（複数回答）については、現状でよいが47.5%で、半数以上が何らかの不十分な点があると感じています。多いものはパソコン設置台数19.6%、くつろぐ場所が少ない15.8%、照明が暗い12.7%、トイレが古い10.1%などです。

職員のサービス満足度は、満足31.7%、だいたい満足53.5%、やや不満6.5%、不満1.6%となっています。平成17年度調査では、満足35.0%、だいたい満足50.1%、やや不満2.7%、不満1.2%であり、若干不満の割合が増えています。皆さんが図書館を気持ちよく使えるように対応の改善に努めていきます。

以上のほかに自由記述では必要な資料の種類、試聴室の利用時間の延長、館内への荷物の持込などが要望として挙がっています。アンケートの回答で実行可能なものは順次実施し、図書館の運営に反映していきます。

※複数回答の場合は、回答総数495名のうちその回答を選んだ人の割合です。

リクエストによる購入資料 (平成19年度下半期)

時期	タイトル	著者	出版社
10月	絵は語る(13) 日商3級予想問題集 漢検過去問題集1級準1級 [平成19年度版] 映画篇 大きな木の家 チャベック旅行記コレクション1 日商簿記3級「出題パターンと解き方過去問題集3級」 白夜行	玉虫敏子 桑原知之 日本漢字教育振興会 金城一紀 はらだたけひで カレル・チャベック TAC簿記検定講座編 東野圭吾	平凡社 TAC 日本漢字能力検定協会 集英社 富山房 筑摩書房 TAC 集英社
11月	パイロットフィッシュ フェミニストカウンセリングへの招待 危ない間取り 歌劇「エフゲニーオネーギン」全曲 (DVD) 歌劇「ドン・パスクワレ」全曲 (DVD) Little DJ 関口知宏の中国鉄道大紀行1 関口知宏が行くヨーロッパ鉄道の旅 (DVD) ヒーリング・コーラス (CD)	大崎義生 井上摩耶子 横山彰人 チャイコフスキー ドニゼッティ 鬼塚忠宏 関口知宏 関口知宏	角川書店 ユック舎 新潮社 TDKコア TDKコア ポプラ社 徳間書店 NHKエンタープライズPUB ワーナーミュージック・ジャパン
12月	ルビーのためのアリア集 (CD) 老年精神医学雑誌 (14巻4号) ゴッドスター ゴールドデンスランパー 掘れ掘れ読本 もったいない話です 京都花街の経営学 デッドボール×ツツイツツ 世の終わりのための四重奏曲 (楽譜)	ファン・ディエゴ・フローレス 吉川日出男 伊坂幸太郎 秋田麻早子 赤瀬川原平 西尾久美子 渡辺文 メシアン	デッカ 日本老年精神医学会 新潮社 新潮社 バジリコ 筑摩書房 東洋経済新報社 権歌書文 Durand
1月	クローバー 阪急電車 新ウォーリーを探せ ランウェイ☆ビート 悦楽の園 ブルーディブックスシリーズ1~4	島本理生 有川浩 マーティン・ハンドフォード maha 木地雅映子 ブラッドリー・トレバー・グリーヴ	角川書店 幻冬舎 フレール館 宝島社 ジャイブ 竹書房
2月	歌劇「セビリャの理髪師」(DVD) 歌劇「連隊の娘」(DVD) ポリシヨイ・オペラ・ナイト (DVD) 歌劇「ドン・パスクワレ」(DVD) 歌劇「ファウスト」全曲 (DVD) カフーを待ちわびて New York To NOVA Scotia ROBERT FRANK	ロッシニ ドニゼッティ ドニゼッティ グノー 原田マハ ROBERT FRANK ROBERT FRANK	ユニバーサルミュージック ユニバーサルミュージック アルトハウス ユニバーサルミュージック キングレコード 宝島社 Museum of Fine Arts National Gallery of Art
3月	はじめて出会う心理学 VOA英語ニュースリスニング初挑戦 全国主要大学編入学試験案内2008年度版	長谷川寿一 小林敏彦	有斐閣 語研 中央ゼミナール

リクエストについて…

図書館に所蔵のない本で、読みたい本や、購入して欲しい本があった場合、希望により購入することが出来ます。
購入して欲しい本のある方は、お気軽にカウンターまでおいで下さい。

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより No.10

発行日 2008年(平成20年)7月1日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学図書委員会
大分県立芸術文化短期大学附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
電話：(097) 545-4235
ウェブサイト：<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/> (図書館)
<http://www.oita-pjc.ac.jp/~tsdayori/> (図書館だより)
イラスト：専攻科造形専攻2年 川崎奈津子
印刷 (有)大分プリント社